データマルキット (形式:DL8KITB)

設定用取扱説明書

1_はじめに	3
1.1 ご使用いただく前に	
1.2 注意事項	3
1.3 保証	3
2_概要 デモのパターン	4
2.1 付属無線 LAN ルータを使用する場合	4
 2.1.1 準備するもの	4 A
2.1.2 Cノー アンショー (Minimum and and a state of a state o	+ Д
2.2.1 準備するもの	
2.2.2 セットアップ手順	4
 2.3 テザリング機能を使用する場合 2.3.1 準備するもの 	5
2.3.2 セットアップ手順	5
3_データマルの設定	6
3.1 DLCFG を使える状態にセットアップする	6
3.2 メール通報の設定	7
3.2.1 送信元アドレスの設定	7
3.2.2 通報元アドレスの設定	٥ ۵
3.4 ネットワーク設定	9
3.4.1 出荷時の設定(データマルを仮想インターネットのサーバとして使用)	9
 3.4.2 モバイル Wi-Fi ルータ (BF-O1D)と組み合わせて使用する場合	
4_ モバイル Wi-Fi ルータの設定	11
4.1 NTT docomo BF-01D の場合	11
4.2 その他のモバイル Wi-Fi ルータの場合	11
5_ 無線 LAN 子機の設定(テザリング使用時)	11
5.1 PLANEX MZK-MF300D と iPhone5 の組合せの場合	11
5.2 その他の無線 LAN 子機の場合	11
6 メール通報デモ	12
	IZ
0.1 CATA WITH W-9 (DF-01D) を使用する場合	12 12
し. ニ ノ ノ ノ ノ / MH5 ご 区 П ソ ② 切口	12

1 はじめに

1.1 ご使用いただく前に

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。 本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認ください。

■梱包内容を確認してください

●キット本体	
・データマル(形式:DL8-B-R)	1台
・接点 4 点入力カード(形式:R8-DA4A)	1台
・接点 4 点出力カード(形式:R8-DC4A)	1台
・直流電圧入力カード(形式:R8-SV4N)	1台
・DL8 用エンドカバー	1台
・操作ボックス	1台
・AC アダプタ、電源ケーブル(約 2m)	各1台
・LAN ケーブル(約 0.5m)	1本
・ 無線 LAN ルータ用 USB 給電器	1台
●無線 LAN ルータ(形式:MZK-UE150N プラネックス製)	
・無線 LAN ルータ 本体	1台
• 取扱説明書	各1部
はじめにお読みください	
ユーザーズ・マニュアル	
●その他	
・コンフィギュレータ接続ケーブル(形式:COP-US)	1台
・e-CON ケーブル(約 9cm)	2本
・クイックマニュアル	1 部

■形式を確認してください お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペック表示で形式と仕様を確認してください。

■取扱説明書の記載内容について

本取扱説明書はメール通報機能を使用する際の設定方法について記載したものです。 配線方法や基本的な動作についてはクイックマニュアルを参照してください。 また、使用する無線LAN ルータなどの詳しい設定方法については、各機器の取扱説明書をご参照ください。

1.2 注意事項

■取扱について

・本体の取外または取付を行う場合は、危険防止のため必ず、電源を遮断してください。

■設置について

- ・屋内でご使用ください。
- ・振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けてください。
- ・周囲温度が O~40℃を超えるような場所、周囲湿度が 30~90%RH を超えるような場所や結露するような場所でのご使用 は、寿命・動作に影響しますので避けてください。

■その他

・本器は電源投入と同時に動作しますが、すべての性能を満足するには10分の通電が必要です。

1.3 保証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後3年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。

2 概要 デモのパターン

- 2.1 付属無線 LAN ルータを使用する場合 付属無線 LAN ルータを使用して、以下の機能を確認できます。
 - ・無線LANによる遠隔監視機能
 ・警報機能



- 2.1.1 準備するもの □無線 LAN 対応のパソコン、タブレット端末、スマートフォン等 □データマルキット(COP-US は使用しません。)
- 2.1.2 セットアップ手順 セットアップ済みですので、お客様での設定は不要です。クイックマニュアルをご参照ください。
- 2.2 モバイル Wi-Fi ルータを使用する場合
 - 以下の機能を確認できます。
 - ・無線 LAN による遠隔監視機能
 - 警報機能
 - ・メール通報機能



2.2.1 準備するもの

□無線LAN 対応のパソコン、タブレット端末、スマートフォン等
 □設定用パソコン(USB ポートを搭載した Windows パソコンが必要です。)
 □モバイル Wi-Fi ルータ(有線LAN ポート付きのもの、推奨機種:NTT docomo BF-O1D)
 □データマルキット(付属の無線LAN ルータは使用しません。)

2.2.2 セットアップ手順



- 2.3 テザリング機能を使用する場合
 - 以下の機能を確認できます。
 - 警報機能
 - ・メール通報機能



2.3.1 準備するもの

□設定用パソコン(USB ポートを搭載した Windows パソコンが必要です。) □無線 LAN 子機(有線 LAN ポートを搭載した無線 LAN 子機が必要です。) □テザリング対応の携帯電話等 □データマルキット(付属の無線 LAN ルータは使用しません。)

2.3.2 セットアップ手順



3 データマルの設定

- 3.1 DLCFG を使える状態にセットアップする
 - ①弊社のホームページより以下をダウンロードしてください。
 - ・データマル(DL8)操作用取扱説明書 以下の3つは「解説・ダウンロード」からダウンロードしてください。
 - ・データマルコンフィギュレータソフトウェア:DLCFG
 - COP-UM、COP-US 用 USB Driver
 - ・COP-UM、COP-US 用 USB Driver の取扱説明書(COP-UM / COP-US インストール手順書)
 - ②「COP-UM / COP-US インストール手順書」に従って、COP-US を導入してください。 ※ここで、COP-US の COM ポートの番号を控えておいてください。(例: COM5)
 - ③操作ボックスから配線されている供給電源、RUN 接点出力用コネクタ(緑色のコネクタ)をデータマルに接続します。 ※データマルの電源は操作ボックスから供給されます。

④COP-US のプラグをデータマルの「CFG」に接続します。

- ⑤データマルコンフィギュレータソフトウェア DLCFG を起動します。
- ⑥メイン画面が表示されます。【通信設定】をクリックして、先ほど控えておいた COM ポートを設定してください。



これでデータマルの設定をするための準備は完了です。

- ⑦設定を変更したあとに初期状態に戻せるよう、設定を保存しておきます。
- 【読み出し(本体)】→【ファイル保存】をクリックし、任意のファイル名にて設定を保存してください。 メイン画面



【BACK】でメイン画面に戻ります。

3.2 メール通報の設定

3.2.1 送信元アドレスの設定

- メール通報のために送信元のメールアドレス等を設定します。
- ① (読み出し (本体)) \rightarrow (通信) \rightarrow (SMTP \cdot POP3) を順にクリックします。



②「SMTP・POP3 設定画面」が表示されますので、ご使用のメールサービスにあわせて設定してください。

弊社ホームページ [サポート・お問い合わせ] にある [よくあるご質問 (FAQ)] より、各種のメール設定例をご確認 いただけます (キーワードに「OCN」などを入力して検索してください)。

よく知られているフリーメールサービス(Yahoo!メール、Gmail)の設定例も掲載しておりますが、フリーメールは メールの契約をしないため、一定期間メールの利用がなかった場合には利用停止やアカウント削除の措置を取っている サービスもあります。

また、フリーメールのサーバ情報は各社ホームページに案内が掲載されるものの、予告なく変更されることがあり、各 社ホームページに変更通知がないか定期的にチェックをしていただかないとメールが送れなくなりますのでご注意くだ さい。

③【BACK】を押して「設定画面」まで戻ります。 続いてメール送信先の設定を行います。

このまま設定を終了する場合は、【ファイル保存】をクリックして、設定データを保存してください。

設定画面

565		
	9,7,7,1,	
	入出力	
	濾憶	
	x-1600 クリッ	
	145/5	
	1019610	
本体出版法		TH NAT
マ サポート絵画件の設定項目的	ether all the second	ビージを表示する。
PINJACII COMO		
	BACK	

3.2.2 通報先アドレスの設定

通報先のメールアドレスを設定します。

① 「設定画面」から【メール通報】→ 【通報先設定】を順にクリックします。



※送信元アドレスの設定から続いての設定でない場合は、本体から設定を読み出すか、保存したファイルを読み出してから設定作業をしてください。

②【通報先設定】画面で通報先のアドレスを登録します。ここで登録したアドレスが通報先として選択可能になります。



③イベント通報毎のメールの内容や宛先を設定します。

出荷時は以下のように設定されていますので、そのまま使用することが可能です。 変更する場合はデータマルの操作用取扱説明書を参照してください。



3.3 設定データの保存

- デモ現場で設定変更が簡単にできるようにファイルを保存しておきます。
- ①【BACK】を押して「設定画面」まで戻ります。
- ②【ファイル保存】をクリックして、設定データを保存してください。
- ③【本体に転送】ボタンを押して設定をデータマルに書き込みます。

	0.7.61	
	37374	
	入出力	
	潮油	
<u>メ-1698</u> クリッ・		
	145/0	
	VOTRESO	
有有通知的		771 1193
マサポート絵画件の設定項目	日本検出したときに少い	マセージを表示する。
PINJACI		
00M0		

3.4 ネットワーク設定

データマルと組み合わせて使用するルータにあわせて、ネットワーク設定をする必要があります。 メイン画面から「ネットワーク」をクリックしてください。本体の情報が読み込まれます。



設定を変更した場合、データマルの電源をいったん切り、再度電源を投入してください。 再起動後に設定が有効になります。 詳細はデータマル操作用取扱説明書をご参照ください。 ここでは、代表的な例を記載します。

3.4.1 出荷時の設定(データマルを仮想インターネットのサーバとして使用)

データマル		
設定項目	設定値	
IP アドレス設定	手動設定	
本体 IP アドレス	192. 168. 13. 100	
サブネットマスク	255. 255. 255. 0	
デフォルトゲートウェイ	192. 168. 13. 1	
DNS プライマリ	192. 168. 13. 1	
DNS セカンダリ	空白	

付属無線 LA	Nルータ
設定項目(WAN 側)	設定値
IP アドレス設定	固定 IP
IP アドレス	192. 168. 13. 1
サブネットマスク	255. 255. 255. 0
デフォルトゲートウェイ	192. 168. 13. 1
DNS1	192. 168. 13. 1

3.4.2 モバイル Wi-Fi ルータ (BF-01D)と組み合わせて使用する場合

データマル		
設定項目	設定値	
IP アドレス設定	手動設定	
本体 IP アドレス	192. 168. 13. 100	
サブネットマスク	255. 255. 255. 0	
デフォルトゲートウェイ	192. 168. 13. 1	
DNS プライマリ	192. 168. 13. 1	
DNS セカンダリ	空白	

モバイル Wi-Fi ルータ(BF-O1D)			
	設定項目(LAN 側)	設定値	
	IP アドレス	192. 168. 13. 1	
	サブネットマスク	255. 255. 255. 0	
	DHCP サーバ	使用する	

※モバイル Wi-Fi ルータ(BF-O1D)の出荷時設定値(2013 年 6 月現在)のまま使用できるよう、データマルを設定していますので、通常 はネットワーク設定の変更、モバイル Wi-Fi ルータの設定変更は不要です。

3.4.3 無線 LAN 子機と組み合わせてテザリング接続する場合

データ	マル
設定項目	設定値
IP アドレス設定	自動設定(DHCP)
本体 IP アドレス	—
サブネットマスク	—
デフォルトゲートウェイ	—
DNS プライマリ	-
DNS セカンダリ	-

4 モバイル Wi-Fi ルータの設定

有線 LAN ポートが搭載されたモバイル Wi-Fi ルータを使用すると、データマルと接続してメール通報および簡易 Web サーバ 画面の確認ができます。

後ほど、ワイヤレスで簡易 Web サーバ画面を確認するために、SSID、暗号化キーを確認します。

4.1 NTT docomo BF-01D の場合

①背面のスイッチをLAN 側に設定します。

②モバイル Wi-Fi ルータとパソコンを付属の LAN ケーブルで接続します。

③パソコンのブラウザのアドレス欄に「192.168.13.1」を入力し、設定画面を表示します。

※設定画面が表示されない場合はパソコンのIP アドレスが自動取得になっているかを確認してください。 また、プロキシサーバを使用しないように設定してください。

④「無線設定」→「WPS 用無線セキュリティー設定」を表示します。 画面に表示された「SSID」と「暗号化キー」を控えておきます。

4.2 その他のモバイル Wi-Fi ルータの場合

ルータの取扱説明書に従って、下記の値を確認してください。

- ・LAN 側 IP アドレス
- SSID
- ・暗号化キー

ルータのLAN側IPアドレスにあわせてデータマルのネットワーク設定を変更します。 変更の方法は「3 データマルの設定」を参照してください。

例) ルータのLAN 側 IP アドレスが「192.168.111.1」の場合、

データマル		
設定項目	設定値	
IP アドレス設定	手動設定	
本体 IP アドレス	192. 168. 111. 100	←ルータの割り当て IP アドレスと重ならないように
サブネットマスク	255. 255. 255. 0	してください。
デフォルトゲートウェイ	192. 168. 111. 1	←ルータの LAN 側 IP アドレスにあわせます
DNS プライマリ	192. 168. 111. 1	←ルータの LAN 側 IP アドレスにあわせます
DNS セカンダリ	空白	

5 無線 LAN 子機の設定(テザリング使用時)

データマルキットに付属の無線 LAN ルータには子機の機能がないため、Wi-Fi テザリングでインターネットに接続する には別途無線 LAN 子機が必要です。また、テザリングする機器(iPhone5 など)と組み合わせての設定が必要です。

5.1 PLANEX MZK-MF300D と iPhone5 の組合せの場合

①MZK-MF300Dの側面のスイッチを「Converter」に設定します。

②MZK-MF300Dの「LAN」側のポートとパソコンを付属のLANケーブルで接続します。

③iPhoneのテザリングを有効にします。(方法についてはそれぞれの取扱説明書等をご参照ください)

そのまま iPhone の「インターネット共有」の画面を表示させておきます。

④パソコンのブラウザのアドレス欄に「192.168.1.249」を入力します。

認証画面が表示されたらID「admin」パスワード「password」を入力します。

※認証画面が表示されない場合はパソコンの IP アドレスが自動取得になっているかを確認してください。

また、プロキシサーバを使用しないように設定してください。

⑤「無線 LAN」→「サイトサーベイ」を表示し、「更新」ボタンを押します。

⑥該当する SSID(iPhone に表示されている「共有中のネットワーク名」)を選択し、「次へ」を押します。

⑦プレシェアードキー(iPhone に表示されている「"Wi-Fi"のパスワード」)を入力して「接続」を押します。

⑧設定が変更されるまでしばらく待ちます。

変更後(無線LAN 子機の再起動後)、ブラウザにエラーが表示されますがそのままブラウザを終了してください。

5.2 その他の無線 LAN 子機の場合

①スマートフォン等のテザリングを有効にし、「SSID」「暗号化キー(パスワード)」を確認します。 ②無線 LAN 子機の取扱説明書を参照の上、上記で確認した SSID のワイヤレスネットワークに接続します。

MG CO., LTD. www.mgco.jp

6 メール通報デモ

出荷時は以下のように設定しています。

- 上限警報:操作ボックスの AI1 が 70%以上になると、R8-DC4A の接点出力状態表示ランプの3番が点灯し、メール通報が送信されます。
- 下限警報:操作ボックスの AI1 が 30%以下になると、R8-DC4A の接点出力状態表示ランプの 4 番が点灯し、メール通報 が送信されます。

デモの前にメール通報先等の設定をすませておいてください。

6.1 モバイル Wi-Fi ルータ(BF-01D)を使用する場合



先にモバイル Wi-Fi ルータ設定の項目に従い、「SSID」と「暗号化キー」を控えておいてください。
①データマルキット本体と操作ボックスの配線をします。
②操作ボックスの AC アダプタを電源に接続し、データマルキットに電源を供給します。
③モバイル Wi-Fi ルータを電源に接続します。
④モバイル Wi-Fi ルータ(BF-O1D) とデータマルを付属のLAN ケーブルで接続します。
⑤操作ボックスの Al1 をまわして警報状態にしてください。
データマルの SEND ランプが点滅し、メールが送信されます。

続けて、簡易 Web サーバ機能を使用してロギング画面を表示します。

⑥タブレット端末等でモバイル WiFi ルータの構成するワイヤレスネットワークに接続します。 (控えておいた SSID のネットワークに接続してください)

- ⑦タブレット端末等でIPアドレス「192.168.13.100(※)」を表示します。
- ※: NTT docomoの BF-O1D 以外の場合は、「4.2 その他のモバイル Wi-Fi ルータの場合」で設定した データマルの IP アドレスを表示してください。

6.2 テザリング機能を使用する場合



先にデータマルのネットワーク設定で、IP アドレス設定を「自動取得」に変更しておいてください。
①データマルキット本体と操作ボックスの配線をします。
②操作ボックスの AC アダプタを電源に接続し、データマルキットに電源を供給します。
③iPhone などのテザリングを有効にします。
④無線 LAN 子機に電源を投入します。
⑤無線 LAN 子機とデータマルを付属の LAN ケーブルで接続します。
⑥操作ボックスの Al1 をまわして警報状態にしてください。 データマルの SEND ランプが点滅し、メールが送信されます。